

ふれあい相談

回答者

家族心理士

臨床心理士

海野 和夫

小学生の息子が3人います。毎日けんかに明け暮れ、ほとほとまいっています。上の子をしかれば「おればっかり」、真ん中をしかれば「〇〇が悪い」、下の子をしかれば「一番弱いのに」と言われてしまします。効果のあるけんかのしり方を教えてください。（田村市・母親）

けんかのしり方

子どものころの兄弟げんかは濃密な心身のふれ合いです。それなりに意味があります。だんだんやらなくなるものですが、大人になってもしり方が残りますか。どうかの手だてを講じておぐことが大切です。

けんかをしかつて解決しようとするのは必ずしも効果的ではありません。しかし、せつからくの質問ですかうお答えすることになります。

けんかは、面白くない、身一度にけんかをなくす方法はありません。けんかのしきはよくないという小さなルールを会得しますと、次第に回数を減らします。

勝手、不満、生意気、不公平、言うことを聞かないなど、どうもどと同じ感情ではなく、理性から起きます。親は子の感情から起きます。親は子の性でかかることが大切です。三人の言い分をよく聞き、けんかの事実をあります。そして事の理非を明確にして公平にしり方をします。しかし上手は聞き上手とわきまえてください。

言い分聞き 理非明確に

一度にけんかをなくす方法はありません。けんかのしきはよくないという小さなルールを会得しますと、次第に回数を減らします。